



国土交通省東北地方整備局

Tohoku Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表

平成27年 3月23日

福島河川国道事務所

磐城国道事務所

小名浜港湾事務所

第1回 国道115号相馬福島道路
道路整備に関する懇談会を開催します

～ 相馬福島道路の利活用による地域活性化の取組を議論 ～

国道115号相馬福島道路は相馬～霊山間が平成28年度～平成30年度開通と見通しが公表され、地域の方々の関心も高まりを見せていることから、関係機関とともに相馬福島道路の利活用による経済・観光振興等地域活性化の取組について議論する場として『国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会』を開催します。

【開催概要】

●日 時：平成27年3月26日（木）14：30～16：00

●場 所：A・O・Z（アオウゼ）視聴覚室

（福島市曾根田町1番18号 MAXふくしま4階）

※取材のうち写真・テレビ撮影に関しては、冒頭のみとさせていただきますので、ご協力お願いいたします。

〈発表記者會〉 福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、いわき記者会
いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、南相馬市役所記者クラブ

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局

あかさか ひろし

福島河川国道事務所 副所長(道路) 赤坂 浩 (内線205)

TEL024(546)4331(代)

ちば とみひこ

磐城国道事務所 副所長(改築) 千葉 富彦 (内線204)

TEL0246(23)2211(代)

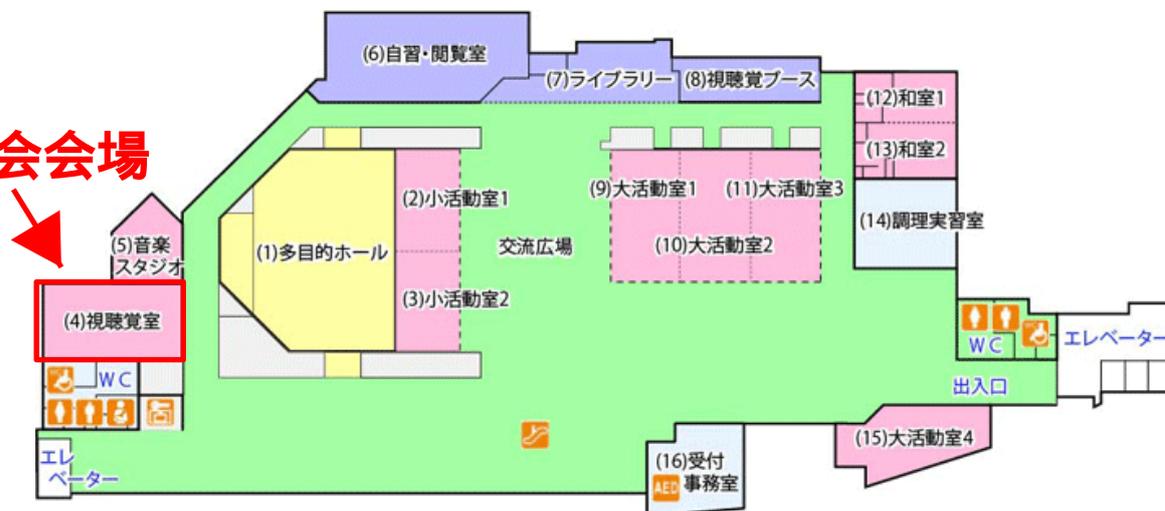
懇談会会場案内

※福島駅東口より徒歩10分

※駐車場は2時間まで無料です。2時間以降30分毎に100円



懇談会会場



第1回 国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会

日 時：平成27年 3月26日（木）14:30～16:00

会 場：福島県福島市

A・O・Z（アオウゼ） 視聴覚室

次 第

1. 開会
2. 道路整備に関する懇談会設立について
（設立趣旨書（案）、規約（案）、今後の展開について）
3. 会長あいさつ
4. 議事
 - （1）国道115号相馬福島道路の進捗状況
 - （2）国道115号相馬福島道路及び相馬港の整備効果
 - （3）意見交換
5. その他
6. 閉会

国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会 委員一覧

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所長	永尾 慎一郎
国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所長	坂井 康一
国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所長	木本 仁
福島県 商工労働部 商工総務課長	安藤 正
福島県 観光交流局 観光交流課長	島田 淳
福島県 土木部次長（道路担当）	大河原 聡
福島県 県北地方振興局 次長	梁取 一男
福島県 相双地方振興局 次長兼企画商工部長	中高 克郎
福島県 県北建設事務所長	柳沼 政明
福島県 相双建設事務所長	浦山 悦雄
福島県 相馬港湾建設事務所長	宗像 良夫
福島市 商工観光部長	山内 芳夫
福島市 建設部長	鈴木 信良
相馬市 産業部長	宇佐見 清
相馬市 建設部長	金森 滋
伊達市 産業部長	三浦 敏徳
伊達市 建設部長	渡辺 治二
桑折町 産業振興課長	岡崎 善右 <small>工門</small>
桑折町 地域整備課長	増田 達也
新地町 企画振興課長	平間 正光
新地町 建設課長	渡辺 祐吉
福島商工会議所 専務理事	石井 浩
相馬商工会議所 専務理事	和田山 雄康
桑折町商工会 副会長	渋谷 浩一
伊達市商工会長	渡邊 武
保原町商工会 副会長	渡辺 英人
飯坂町商工会 副会長	高橋 義博
新地町商工会 副会長	渡部 和志
東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所長	中西 規祥
東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所長	小池 敏樹

敬称略

【復興支援道路】 一般国道115号 相馬福島道路の概要

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。



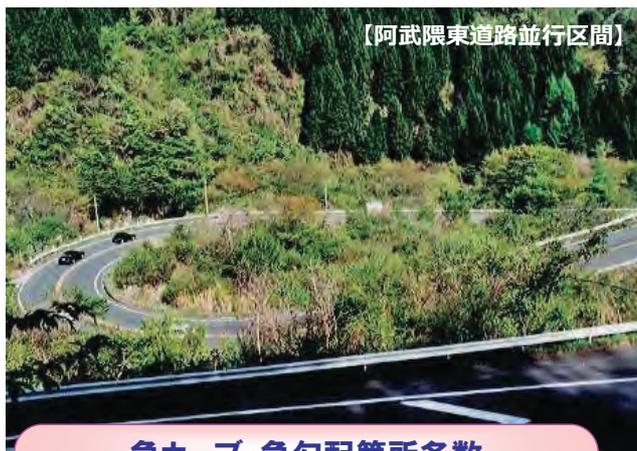
国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障



急カーブ・急勾配箇所多数



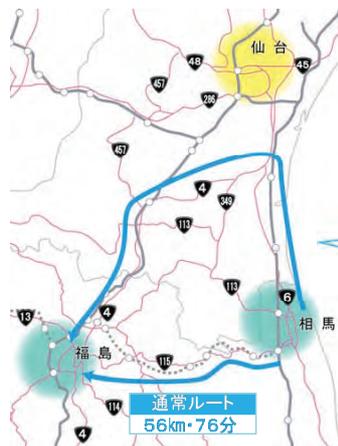
沿線住民の安全な生活に支障

メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



・相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している
⇒大幅な迂回損失が発生

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格

メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼落石等により寸断された国道
国道115号相馬市山上地区（H18年6月）



▼豪雪により寸断された国道
（伊達市霊山町石田地内（H26年2月）全止め3日間）

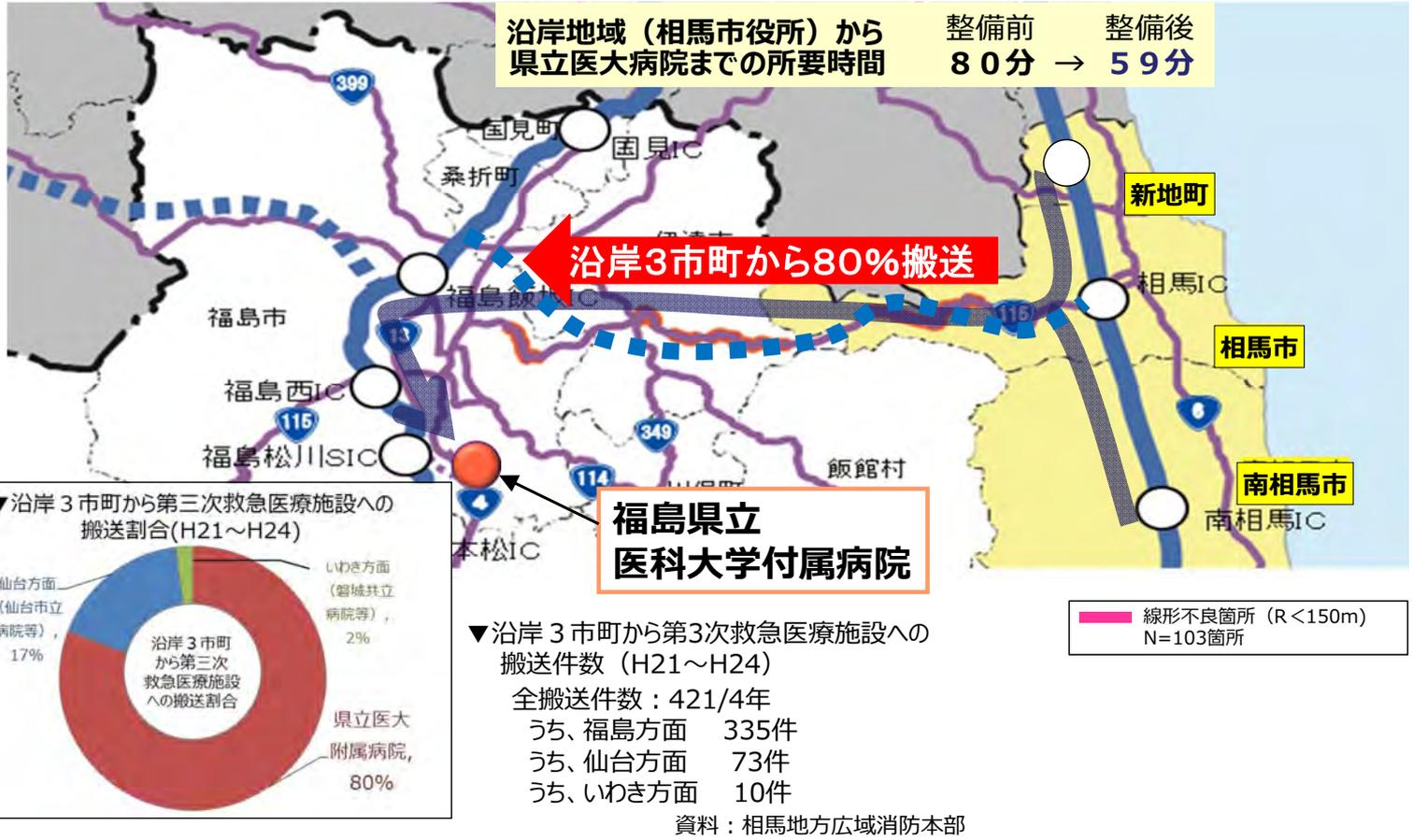


国道115号は、災害等による通行止めが頻発
(通行止14回/15年)

※H11～H25

メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t
のコスト削減



輸送方法の切り替えイメージ

